

# ハイサイ こちら市長室!

「世界チャンプ誕生」

去る5月20日、浦添市のボクシング世界チャンピオン誕生の瞬間を直接会場で見ることができた。場所は東京有明コロシアム。リングが小さく感じる程の巨大な会場には大きなスクリーンが4面に掲げられ、私も沖縄からの約500人の比嘉大吾大応援団の一人として、試合開始のゴングが鳴る前からドキドキしながら彼の登場を待った。爽やかなスポーツ観戦とは違う、殺気を帯びた格闘技特有の雰囲気の中、私がまだ小学生だった頃、具志堅用高さんの試合に、手に汗握りパンチを出しながらまるで自分が戦っているかのようになり、必死になって応援したことを思い出した。しかし、当時と違うのは、具志堅用高さんは私にとって憧れの大人のヒーローだったが、比嘉大吾選手は自分の子どものような

年齢なのである。事実、彼の父は私の一つ年下の野球チームの後輩でもあり、そして私も大吾と同じ仲西中学校卒業なのである。だから、試合に勝つことはもちろんであるが、ついつい怪我をしないよう身体を案ずる父親目線で見えてしまうのである。

私が言うに及ばず、ボクシングとは危険なスポーツでもある。グローブを使用しているとはいえ、鍛え上げた者同士がボコボコに殴り合う格闘スポーツである。テクニクや作戦があったにせよ、それでも基本的には相手にパンチを浴びせノックアウトをめざす至ってシンプルルールなのである。その原始的な単純さこそがボクシングというスポーツの魅力なのではあるが、やはり親心で見ると辛いものがある。

器用に逃げ回る相手を大吾のパンチが冷静に捉



浦添市長 松本 哲治

え、流れが一方的になった第6ラウンド、遂に相手はマットへと沈み、再び立ち上がることはできなかった。その新世界チャンピオン誕生の瞬間、会場の大吾コールは最高潮に達し、みんな抱き合って勝利を喜び合った。スクリーンに大吾の涙が映し出され、具志堅会長の頬に涙が伝った時、「頑張れ！」の大声援はいっしょに「ありがとう！」の声に変わり、私たち応援団のみんなも泣いた。夢を達成した大吾の笑顔には、欠けた前歯が不思議とよく似合っていた。大吾おめでとう!



☆浦添市民栄誉賞授与

問い合わせ  
秘書課 ☎(876) 1234  
(内線2563)



## 英語のことわざ Japanese Sayings and Proverbs

Hello everyone! This month will be a special edition of this column. For the first time, the English and Japanese versions will have slightly different content! In the Japanese version, I will introduce some English sayings and proverbs, whereas the English version will be based around Japanese ones. Since it is July (the 7th month) I will be introducing and explaining 7 Japanese sayings and proverbs.

- So, without further ado, please enjoy the following 7 Japanese sayings and proverbs!
1. Japanese: 「七転び八起き」 Translation: "Fall down seven times, stand up eight"
  2. Japanese: 「尻の河童」 Translation: "A Fart Kappa" (a kappa is a mythological Japanese monster that looks like a cross between a turtle and a bird) Meaning: This saying describes something that is "easy". Almost like the saying, "A piece of cake".
  3. Japanese: 「馬子にも衣裳」 Translation: "Clothes on a packhorse driver" Meaning: Like the saying, "Clothes make the man", this saying just means, "anybody can look good with the right clothes."
  4. Japanese: 「猿も木から落ちる」 Translation: "Even monkeys fall from trees" Meaning: Anyone can make a mistake.
  5. Japanese: 「瓢箪から駒」 Translation: "A horse from a gourd" (in this case, the word for "horse" may also refer to a piece in Shogi - Japanese chess) Meaning: This expression is used to express that something very unexpected has happened
  6. Japanese: 「虎穴に入らずんば虎児を得ず」 Translation: "You won't catch a tiger's cubs without entering its den." Meaning: Sometimes to succeed you must take a risk.
  7. Japanese: 「海の物とも山の物ともつかぬ」 Translation: "Neither fish nor fowl!"

So what did you guys think of the Japanese sayings? Did you notice that in the Japanese proverbs, animals come up pretty frequently? I think that using animals in sayings and proverbs is a commonality across many languages and cultures. Humans are often able to relate to animals and bond with them, so feel as though we can explain our own lives and actions through them. Sayings and proverbs are used frequently in many countries and cultures so remembering the Japanese sayings from this article might come in handy some day!

## てだっ子 STUDIO スタジオ



「てだっ子STUDIO」写真募集  
●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。  
※被写体の子ども氏名(ふりがな)・年齢(0か月,1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに!  
〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1 浦添市役所 国際交流課 ☎(876) 1234 (内線2613・2614) E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

## 文化課発信 うあむー ありんくりん 第28回

### 安波茶樋川 (あはちゃふいーじゃー) を復元整備しました!

今回は、市役所のすぐそばにある湧き水で、市の文化財(史跡)に指定されている「安波茶樋川」をご紹介します。沖縄では、井戸などの水場を「カー」と呼びます(「カー」は語尾だと「ガー」や「ジャー」などにも変化します)。その中で樋を使って水を流す仕組みのものが「樋川」(フィージャー)と呼ば分けられます。安波茶樋川は、琉球王国時代に書かれた『琉球国旧記』(1731年編纂)にその名が登場することから、約300年前にはすでにあったことが分かっています。

今は各家庭にある水道の蛇口から水が出ますが、浦添でも約50年前までは自然の湧き水や井戸から飲み水や洗濯に使う水を得ていました。こういった水場は信仰の対象でもあり、昔から地域の人々に大切にされてきました。

昭和40年代には市内にも水道が普及し、それ以降は安波茶樋川も使われなくなり土砂で埋もれかかっていましたが、このたび地域の協力のもとに復元整備を行い、平成29年3月に復元整備が完了しました。地域からは「安波茶橋と並ぶ地域の宝ができたね」と喜びの声がありました。最近



▲整備前 (Before) ▲整備後 (After) ▲地図  
最近では周辺の草木が徐々に緑を取り戻し、水辺にはエビなどの生き物も少しずつ戻ってきています。安波茶樋川はどなたでも見学可能ですので、ぜひ見にいらしてください。